

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
FMD News Vol.101をお届けいたします。



3月のTOPICS

■ 後遺症にも関連 COVID-19 回復期における内皮機能の臨床評価に関するメタ解析

現在、COVID-19 第 10 波が到来しコロナ患者も増えているようです。これまでの FMDNews において、Vol.64 や 70 などで COVID-19 と血管機能の関連に関する論文をご紹介してまいりましたが、今回は、後遺症にも関係がある COVID-19 感染患者の回復期における血管内皮機能に関するメタ解析が発表されていますのでご紹介いたします。

回復期の COVID-19 感染症者と COVID-19 感染歴のない対照群における血管内皮機能を評価する研究のメタ解析を実施しました。

PRISMA ガイドラインに従って、PubMed、Web of Science、Scopus、EMBASE を使用し文献検索を実施しました。
ランダム効果法を用いて症例群と対照群の間の差を、95% CI の平均差 (MD) として表しました。

12 件の研究についてメタ解析が実施されました。合計 644 人の回復期 COVID-19 感染症者は、662 人の対照群と比較して有意に低い FMD 値を示しました。(MD: 2.31%、95% CI: 3.19, 1.44, $p < 0.0001$)。
心血管リスク因子や冠動脈疾患の既往歴が無いグループの参加者を対象とした研究の感度分析でも同様の結果が得られました。(MD: 1.73%、95% CI: 3.04, 0.41, $p = 0.010$)。

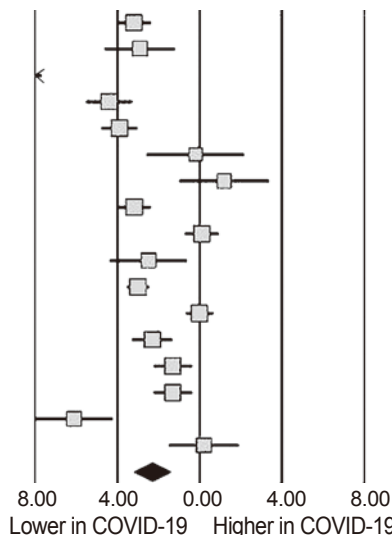
追跡期間中の研究間の不均一性を考慮して、感染後最初の 3 か月以内、または回復後 3 か月以上の COVID-19 感染症者を評価した研究を個別に分析しました。結果は短期調査 (MD: 2.20%、95% CI: 3.35, 1.05, $p < 0.0001$) と長期追跡調査 (MD: 2.53%、95% CI: 4.19, 0.86; $p = 0.003$) の双方で症例群と対照群の FMD 値の有意差が確認されました。

メタ回帰モデルは、COVID-19 の罹患後症状の有病率の増加が、症例群と対照群間の FMD 値の差の増加と関連していることを示しました (Z スコア: 2.09; $p = 0.037$)。

結論として、特に残存する臨床症状が持続する場合には、感染後 1 年以内の回復期の COVID-19 感染症者において、血管内皮機能障害が生じている可能性があることと示唆されました。

Ann Med. 2022 Dec;54(1):3234-3249.

Difference in means and 95% CI



回復期COVID-19患者と対照群間の FMD値の平均差のフォレストプロット

■ 第88回日本循環器学会学術集会での展示のご案内

新機能【筋肉分析機能】を搭載した血管内皮機能FMD検査装置を展示し、FMDとともに測定された方の筋肉量と霜降り度をランキング形式で発表します。皆様ぜひチャレンジしてください！

会 期：2024年3月8日（金）～10日（日）

会 場：神戸国際展示場 2号館

2号館入り すぐ左手の赤いブースです